



カトリック中央協議会  
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2012年7月号（493号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会 .....	1
・社会司教委員会 .....	3
・「司牧の手引き」編纂特別委員会 .....	4
・用語検討特別委員会 .....	5
・典礼委員会 .....	5
・学校教育委員会 .....	6
・カリタスジャパン .....	7
・正義と平和協議会 .....	9
・部落差別人権委員会 .....	11
・日本キリスト教連合会 .....	13
・外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会 .....	14
・部落問題に取り組むキリスト教連帯会議 .....	15
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク .....	15
・HIV/AIDS デスク .....	16
・中央協議会事務局（出版、総務） .....	17

常任司教委員会

■5月定例常任司教委員会

日 時 2012年5月10日（木）10：00－14：50

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 7人

事務局 8人

## 報 告

### 1. 日本二十六聖人列聖 150 周年記念ミサと記念行事について

2012 年 6 月 8 日－10 日に、駐日教皇大使ジョゼフ・チェノットゥ大司教を迎えて、京都教区、広島教区、長崎教区で、以下のとおり日本二十六聖人列聖 150 周年記念ミサと記念行事を行う。

京都教区	8 日(金) 15:00	河原町教会 (カテドラル) で記念ミサ
広島教区	9 日(土) 10:30	教皇大使、芳賀の里 (聖ディエゴ喜斎記念公園) 巡礼
	11:30	岡山教会で教皇大使主司式による記念ミサ
長崎教区	9 日(土) 14:00	講演会 (長崎カトリックセンター)
	10 日(日) 10:00	西坂で「日本カトリック長崎・西坂巡礼所」の銘版除幕式と 「椿の植樹」祝福式
	14:00	浦上教会 (カテドラル) で記念ミサ 教皇大使による「日本カトリック長崎・西坂巡礼所」の設立宣言
	18:00	レセプション

### 2. 「司牧の手引き・婚姻」「司牧の手引き・葬儀」に関するアンケート結果について

「司牧の手引き・婚姻」の再版ならびに「司牧の手引き・葬儀」の作成にあたり、2012 年 1 月の常任司教委員会の勧めに従って実施したアンケートの集計結果が報告された。『司牧の手引き』編纂特別委員会では、今後、アンケート集計結果にもとづき、婚姻編の改訂、葬儀編の作成作業を行っていく予定。

### 3. 東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について

東日本大震災にあたっての、現在までの募金状況と活動状況がカリタスジャパン・菊地 功司教から報告された。4 月 30 日現在のカリタスジャパンへの募金は、693 百万円、国際カリタスからの募金が 586 百万円で計 1279 百万円、援助金支出は、736 百万円となった。

### 4. 中央協議会の口座に入金された義援金について

4 月 30 日現在、中央協議会の口座に入金された東日本大震災関連の義援金とその用途に関する報告が行われた。義援金総額は 73, 191, 753 円、支出合計は、19, 211, 506 円、残高は 53, 980, 247 円となった。

### 5. 日本カトリック神学院・東京キャンパスの移転登記完了について

2012 年 4 月 19 日付で日本カトリック神学院・東京キャンパスの東京大司教区から中央協議会への移転登記が完了した。

## 審 議

### 1. 2012 年度定例司教総会内容確認について

2012 年度定例司教総会の内容の確認を行った。なお、内容の確定は 6 月の常任司教委員会で行う。

### 2. 2012 年度「司教の集い」の準備について

2012 年度定例司教総会中に「日本においてどのように信仰を伝えていくか」をテーマに開催する「司教の集い」の準備として、提案されたプログラムや参加者等を承認した。なお、具体的内容については、岡田大司教が講師と打ち合わせを行い、準備を進める。

### 3. 「信仰年」に関する日本の教会としての取り組みについて

日本の教会としての「信仰年」に対する取り組みについては、本常任司教委員会での諸意見を加味して、池長大司教、岡田大司教、高見大司教が司教協議会としての取り組み案を作成し、6 月の常任司教委員会において、2012 年度定例司教総会への提案内容を確定する。

### 4. 日本二十六聖人列聖 150 周年記念行事にあたっての提案について

日本二十六聖人の列聖 150 周年記念行事に関連する以下の事項を承認した。

- ① 「日本カトリック長崎・西坂巡礼所」規則の英文表記の修正。
- ② 「日本カトリック長崎・西坂巡礼所」の銘板を西坂公園内に設置し、責任者名を「日本カトリック司教協議会」とする。
- ③ カトリック「二十六聖人長崎への道」ネットワーク規約。

- ④ 二十六聖人列聖記念御絵に「日本カトリック司教協議会」の名称を記載する。
5. 2013年祈祷の使徒「日本の教会の意向」について  
本常任司教委員会での諸意見を加味して修正した2013年祈祷の使徒「日本の教会の意向」を正式版として提出することを承認した。
6. 予算審査会において、要検討事項となった部門の対応について  
予算審査会において要検討事項となったNICE担当についての今後の作業は、司教協議会事務で対応し、委員会の予算計上も今年度をもって打ち切ることを定例司教総会に諮る。
7. 出版企画書承認について  
出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと、出版企画書を承認した。
- 書籍名 『イエスの祈り』  
編訳者 カトリック中央協議会 司教協議会秘書室研究企画  
内 容 教皇ベネディクト十六世の祈りに関する一般謁見連続講話のペトロ文庫化

## 社会司教委員会

### ■司教秘書合同会議

日 時 2012年5月10日(木) 15:00-18:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 13人

### 報 告

1. 2011年度緊急活動支援資金運用報告
2. 2011年度決算書(案)報告
3. 「聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのガイドライン」について
4. 各委員会からの報告

### 審 議

1. 出版記念シンポジウム『なぜ教会は社会問題にかかわるのか』プログラムの検討
  - ①2012年10月7日(日) 10:45 - 12:30 カトリック浦上教会(長崎大司教区)  
松浦悟郎司教 「なぜ教会は社会問題にかかわるのか」  
幸田和生司教 「原発と基地～なぜキリスト者として看過できないのか～」
  - ②2012年12月1日(土) 13:00 - 16:00 カトリック大船教会(横浜教区)  
溝部 脩司教 「殉教と殉国」  
谷 大二司教 「奄美のカトリック排撃運動とカトリック教会」
  - ③2013年3月16日(土) 13:30 - 16:30 カトリック大阪梅田教会(大阪大司教区)  
菊地 功司教 「現代人の喜びと希望」  
平賀徹夫司教 「意識されない差別～フクシマから～」
2. 2012年度「司教のための社会問題研修会」について  
訪問先の韓国済州教区長・姜 禹一司教と日程調整の結果、以下の内容について決定した。
  - ・場所 韓国・済州島
  - ・日程 2013年1月29日(火)から2月1日(金)まで
  - ・プログラム等、詳細は後日検討

## 「司牧の手引き」編纂特別委員会

### ■『司牧の手引き』編纂特別委員会

日 時 2012年4月27日(金) 13:30-17:30  
場 所 日本カトリック神学院 福岡キャンパス(福岡市)  
出席者 5人

### 報 告

『司牧の手引き・婚姻』および『司牧の手引き・葬儀』に関する教区アンケート回収結果について

- ・各教区本部の了解を得たうえで、2012年2月末に全国の教会ならびに教区神学院(東京、福岡キャンパス)あてに796通を発送。回答期限の4月22日までに96通の回答が寄せられた。回収率は約12%。
- ・回答は基本的に無記名を前提としたが、記名の回答者もあり、それによると全16教区から、また都市部・郡部のいずれからも回答が寄せられたことを確認した。
- ・回収率はそれほど高くないが、記述形式の回答には多くの建設的意見が寄せられており、全国アンケートとしての価値をもつことが確認された。

### 審 議

#### 1. アンケート結果の共有について

委員全員がアンケート集計表にまとめられた回答のすべてに目を通し、今回の結果におおむね以下の特徴があると認められた。

- ①『司牧の手引き』は存在そのものが知られていない。儀式書あるいは他の類似の出版物と混同されている。
- ②司祭あてのアンケートであったが、信徒による回答が複数寄せられているため視点の違いがある。
- ③教会の教えの徹底を求める立場(司牧的教育的立場)と日本の習慣に根差した応用、非キリスト者への配慮を求める立場(宣教的立場)に大きく二分される。立場により対応が分かれる。
- ④儀式の構成要素についての照会など、司祭養成(神学院)の段階で解決できると思われる事項が含まれている。
- ⑤外国人司牧・青少年司牧に関して現場の問題が表明されている。これについては専門家との作業が必要になることが予測される。

#### 2. 『司牧の手引き・婚姻』および『司牧の手引き・葬儀』作業手順の確定について

- ・『司牧の手引き・婚姻』の改訂と『司牧の手引き・葬儀』の作成は並行して取り組むこととする。
- ・『司牧の手引き・婚姻』の改訂については、常任司教委員会に改訂の意向を報告したうえで、教会法的観点から増補改訂が必要と思われる個所を整理し、秘書が取りまとめて教会行政法制委員会の確認を得たのちに、改訂案として常任司教委員会に提出する。
- ・『司牧の手引き・葬儀』の作成については、司教団が認可した手引きとして、さまざまなケースに対応する司祭・信徒が安心感をもつことができるよう、主に手続きや考え方を説明するものに整える。その際、遺族に寄り添うという精神を基本にする。

#### 3. 常任司教委員会報告事項の確定について

詳細は常任司教委員会報告を参照。

#### 4. 「イヤブック」掲載の委員会名称の英語表記について

委員会名称の英語表記は、駐日教皇大使あての活動報告書や『司教協議会イヤブック』等で用いられるものである。司教協議会事務局より、これについては各委員会で確定することができるとの見解を得ており、当委員会の英語表記を the Special Committee for the Publication of *Pastoral Manual* とすることを確認した。

## 用語検討特別委員会

### ■用語検討特別委員会

日 時 2012年5月28日(月) 13:30-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 8人

### 審 議

第二バチカン公会議文書公式訳改訂作業に伴う用語について

6月に開催される2012年度定例司教総会での審議のため、『カトリック東方典礼諸教会に関する教令』、『信徒使徒職に関する教令』、『教会の宣教活動に関する教令』の用語について検討と確認を行った。

## 典礼委員会

### ■定例会議

日 時 2012年5月14日(月) 10:00-14:45

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 9人

欠席者 2人

### 審 議

#### 1. 2012年度全国典礼担当者会議について

2012年9月3日(月) - 5日(水)に、「典礼への参加」をテーマに掲記会議を開催する。第二バチカン公会議での典礼刷新に影響を与えた近代の典礼運動の情熱、伝統と現代性の間の両面からのアプローチを軸とした刷新の客観的評価、そして『典礼憲章』とその後の典礼公文書における「参加」について3講話の担当者を検討した。また、信徒に対する典礼への理解を深める取り組みの実例を3教区に発表依頼することを確認した。テーマに即した各教区への事前アンケートも準備する。その他、『司教儀典書 (Caeremoniale Episcoporum)』に基づく司教司式ミサの留意点なども紹介することを確認した。

#### 2. ミサの「公式祈願」改訂訳の再検討箇所について

2011年度臨時司教総会で指摘された箇所を再検討した。検討結果は、常任司教委員会に提出する。

#### 3. 聖体拝領に代わる祝福の授与について

ミサの聖体拝領のとき、拝領をしない人に祝福を与えることについて検討を行った。次回以降、継続して検討を行う。

#### 4. 『主日の朗読聖書』と『朗読聖書—聖なる過越の三日間』について

掲記書籍の主題句・冒頭句などを、*Ordo lectionum Missae*のラテン語規範版に合わせて修正したうえで重版するか否かを検討した。検討結果を出版部に報告する。

#### 5. 聖人固有のミサの「公式祈願」改訂訳について

新『ミサ典礼書』に掲載する掲記改訂訳について、検討結果を踏まえて修正し、2012年6月の定例司教総会に提案する。

次回定例会議 2012年7月9日(月) 10:00-15:30 日本カトリック会館 会議室3

## ■ 典礼音楽担当部門会議

日 時 2012年5月29日(火) 15:00-31日(木) 12:00  
場 所 長崎純心聖母会 八王子修道院(東京・八王子市)  
出席者 6人

### 審 議

ミサ通常式文と信条(ニケア・コンスタンチノーブル信条と使徒信条)の二種類の試作の旋律について検討した。今回の検討結果をふまえて、今後の作業の進め方について典礼委員会定例会議で検討する予定。

## 学校教育委員会

### ■ 第133回 学校教育委員会

日 時 2012年4月12日(木) 15:30-17:30  
場 所 日本カトリック会館 会議室4  
出席者 8人

### 報 告

1. 事務局より、「2012年度予算報告書」の内容について
2. 品田委員より、「カトリック学校連合会の動き」について

### 審 議

1. 「第25回校長・理事長・総長管区長の集い(集い)」について
  - (1) 事例報告  
冊子『キリスト教理解のために』を活用している学校から、行田隆一校長(ノートルダム学院小学校)と深水洋子校長(函嶺白百合学園中学高等学校)に発表を依頼する。
  - (2) 分科会  
・回収したアンケートの内容をまとめたもの、分科会で話し合ってもらうポイント、司教団が承認した二文書(「カトリック学校の存廃問題に対する司教団の対応規定」と「日本カトリック学校としての自己点検評価基準」)を事前に配布しておく。  
・一日目の終わりに、分科会について説明する時間を取り、二日目の朝にも話し合いのポイントを再確認する。
  - (3) 全体会での分科会まとめ報告  
各グループの話し合いのまとめをメモ程度にし、12時までに提出してもらう。  
回収後、委員全員で重要と思われる内容を抜き出し、司会者が発表する。
  - (4) 「集い」終了後のアンケートの内容確認  
2011年度と同様の内容で作成したものを使う。
2. 「長崎・五島研修旅行」下見報告と課題(品田委員)  
研修旅行下見(2012年3月21日-23日実施 梶山秘書、片山委員同行)について報告があった。  
課題として挙げられた以下の点を今後検討する。
  - ・五島への交通手段は船便に限られており、天候の変化に伴うプログラム変更を常に考慮しておく必要がある。
  - ・参加者を20人として、同行する委員は2人が適当と考える。
3. 合宿について

- ・日程は、9月16日(日)－17日(月・祝)とする。
- ・開催場所については各委員で探し、その結果を事務局に報告する。

次回会議 2012年6月7日(木) 15:30－17:30 日本カトリック会館

## カリタスジャパン

### ■第1回事務局会議

日 時 2012年5月11日(金) 12:00-14:00  
場 所 日本カトリック会館 会議室4  
出席者 9人

#### 審 議

1. 2011年度決算報告と事務負担金算出方法について  
2011年度決算報告ならびに募金意向別事務負担金の算出方法について、新たな提案がなされた。本提案についてはカリタスジャパン委員会に付託する。
2. 全国教区担当者会議(11月開催)について  
事務局としては、今回の東日本大震災の経験からも必要とされた「災害時の初動(教区担当者の役割)」や、「四旬節小冊子の方向性」について話し合うことを提案する。6月19日の全国教区担当者会議実行委員会で議題を検討し、準備を始める。
3. ホームページの改善について  
現行ホームページの改善について意見交換を行った。Webサイト視聴者にとって、見やすく分かりやすい、また必要な情報にアクセスしやすいものへと変えていくため、今後とも事務局で話し合いを継続していく。
4. その他  
被災地の各ベースで使用されている名称表記の検討については、カリタスジャパン委員会に付託する。

### ■第1回カリタスジャパン委員会会議

日 時 2012年5月11日(金) 14:00-18:00  
場 所 日本カトリック会館 会議室2  
出席者 11人

#### 報 告

1. 事務局新職員紹介と業務分担確認  
2012年5月1日より、カリタスジャパン援助部に正職員として横山葉子(海外一般案件担当)、鈴木まり(海外特殊案件、東日本大震災担当)の2人が配属された。
2. 啓発部会  
「会報」5月号参照
3. 援助部会  
(1) 東日本大震災支援状況
  - ・東京教区のベースが6月1日、南相馬市原町に開設される。
  - ・ベーススタッフが増え、ボランティアは少ないながらも各ベース共、安定した活動を行っている。

## (2) 援助実績報告

### 4. 2011 年度決算報告

募金 1141 百万円、援助金支出 864 百万円

## 審 議

### 1. 海外視察

モンゴルへの視察（5月22-27日）承認。3年間支援を終了した案件の視察、および今後の支援について協議。

### 2. 2012年度海外援助方針について

募金増に向けての取り組み案を、次回の援助部会までに事務局でまとめる。

### 3. 2012年度東日本大震災対応について

復興支援（特に福島）の枠組み構築に向けて、次回の仙台教区サポート会議で意見交換の予定。

### 4. 2013年四旬節小冊子について

テーマを「フクシマ」とし、7つの題材について、取材対象者、取材者、執筆者などを決め、作業を進めていく。

### 5. 援助審査

3件（国内一般2、海外一般1）を審査し、以下の2件を承認。

(1) 足立インターナショナル・アカデミー（AIA）「AIA活動支援」1,000,000円

(2) パキスタン「コミュニティに根ざした災害リスク管理（1/3年目）」30,000ユーロ

### 6. 国際カリタス緊急支援要請(Emergency Appeal/EA)

以下3件の支援を決定。

(1) チャド「食糧危機緊急支援（EA15/12）」5,000ユーロ

(2) マダガスカル「サイクロン緊急・復興支援（EA13/12）」5,000ユーロ

(3) エクアドル「洪水災害緊急支援（EA14/12）」5,000 USドル

次回日程 2012年7月25日（水）11:00-16:00

## ■第1回啓発部会会議

日 時 2012年5月15日（火）13:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 11人

## 報 告

### 1. 東日本大震災支援状況

カリタスジャパン委員会会議議事録を参照

### 2. 事務局人事

カリタスジャパン委員会会議議事録を参照

### 3. 2013年四旬節小冊子について

カリタスジャパン委員会会議議事録を参照

### 4. シンポジウム「宗教者の使命-自死をめぐる」について

9月17日（月・祝）に福岡教区で行われる諸宗教部門主催の表記シンポジウムで、本部会発行の小冊子配布をお願いします。啓発部会からは吉田 繁師（大分教区）が参加予定。

## 審 議

### 1. 2011年度第6回啓発部会議事録を承認



## 2. 自死についての小冊子発行について

本冊子を使って分かち合いや振り返りができるページ構成にする。事務局に寄せられた意見や感想のほかに、本冊子発行の経緯、専門家からの意見、委員の感想などを盛り込む。委員有志による編集作業部会を設け、9月10日の自殺予防デーまでに発行する。A6判、32ページを予定。

### 次回以降日程

- 第2回啓発部会 2012年 7月17日(火) 13:00-17:00
- 第3回啓発部会 2012年 9月20日(木) 14:00-16:30
- 第4回啓発部会 2012年11月20日(火) 同上
- 第5回啓発部会 2013年 1月15日(火) 同上
- 第6回啓発部会 2013年 3月 6日(水) 同上

第1回小冊子作業部会 2012年6月14日(木) 11:00-16:00

## 正義と平和協議会

### ■定例会議

日時 2012年5月15日(火) 13:00-16日(水) 15:00  
場所 ニュー扇屋(福島・福島市)  
出席者 11人

< 5月15日(火) 15:00-17:30 >

### 報告

1. 20条の部会シンポジウム「奄美のキリスト教迫害と信教の自由を考える」の報告
2. 第37回カトリック正義と平和全国集会2012長崎大会

大会日程(5月現在、今後変更の可能性あり)

2012年10月6日(土)(長崎カトリックセンター)

13:00 受付

14:00 開会式、オリエンテーション

14:30 基調講演「『正義と平和』の原点を探る」

18:00 懇親会(大司教館)

10月7日(日)

9:30 主日ミサ(浦上教会)

10:30 社会司教委員会シンポジウム「なぜ教会は社会問題に取り組むか」

(長崎カトリックセンター)

14:00 分科会、現地学習

10月8日(月・祝)

9:00 全体会(長崎カトリックセンター)

11:00 派遣ミサ

12:00 閉会式

上記日程を確認、意見交換を行った。大会案内パンフレットを作成中。

3. 2011年度決算報告を承認。

4. 今後の予定

#### ①韓国・済州島訪問

5月28日(月)-31日(木) 参加者13人

②林 尚志師練成会

6月2日(土) - 3日(日) 日本カトリック会館 参加者 18人

③憲法についての学習会 (テーマ未定)

7月7日(土) 13:00-16:00

講師: 高田 健 (許すな! 憲法改悪・市民連絡会)、水島朝穂 (早稲田大学法学部教授)

JP 通信 5月号でチラシを配布する

④原子力に関する宗教者国際会議 (12月3日-6日 宮城・仙台市にて)

⑤九条アジア宗教者会議 第4回マニラ会議 (2014年開催)

審 議

1. 2013年大会開催地について

開催教区が決まらない場合は、昨年度のようなスタディツアーを行う。

2. 非暴力世界の構築のための人民憲章 オーストラリア会議 (11月開催) 招待について

マイケル・シーゲル師 (神言会) が参加予定。

< 5月16日(水) 現地学習 >

8:30 ニュー扇屋出発

10:00 いわき市久之浜地区、豊間地区、漁港の津波被災地の見学

12:00 さいたま教区サポートセンター「もみの木」訪問、3人の被災者の体験を聞く。

15:00 解散

■NCC 靖国神社問題委員会

日 時 2012年5月7日(月) 18:00-20:00

場 所 日本キリスト教会館 バプテスト同盟会議室 (東京・新宿区)

出席者 カトリックから1人

報 告

1. 各教派、団体からの報告

2. 政教分離訴訟関係の報告

3. 「憲法審査会」の学習会について

審 議

Xデー・大喪の礼・即位礼・大嘗祭問題 Q&A の冊子編集作業について

■平和を実現するキリスト者ネット

日 時 2012年4月19日(木) 15:00-17:15

場 所 日本キリスト教会館 会議室 (東京・新宿区)

出席者 カトリックから2人

報 告

1. 会計、賛同状況

2. ニュースレター進捗状況

3. 集会・行動の報告

第99回自衛隊ソマリア派兵の中止を求める宗教者国会要請行動 (平和をつくりだす宗教者ネットより)

2012年3月23日(金) 衆議院第2議員会館第6会議室院内集会

署名提出 346筆 総数 89,491筆

首相官邸前祈念行動

第100回自衛隊ソマリア派兵の中止を求める宗教者国会要請行動(平和をつくりだす宗教者ネットより)

2012年4月17日(火) 衆議院第2議員会館第6会議室院内集会

100回を迎え、これまで関わりの深かった宗教者、市民団体、国会議員の方々にメッセージをいただいた。

参加者数 55人

署名提出 515筆 総数 90,006筆

首相官邸前祈念行動

## 審議

1. 第101回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者の要請行動(5月17日)要請メンバーについて  
第102回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者の要請行動(6月14日)要請メンバーについて
2. ニュースレター127号について
3. 「5・3憲法集会」係員の配置について
4. 平和を実現するキリスト者ネット全国集会開催について  
9月14日(金) - 15日(土) 場所は未定。テーマは次回会議で検討する。

# 部落差別人権委員会

## ■事務局会議

日時 2012年4月27日(金) 11:00-15:00

場所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 6人

欠席者 1人

## 報告

1. 「取り調べ可視化と公正な証拠開示の法制化を求める院内集会(4月20日)」について
2. 狭山事件「第10回三者協議(4月23日)」について
3. 大阪教会管区部落差別人権活動センターより

## 審議

1. 夏季合宿について  
4月19日(木)に岡山教会で打ち合わせをし、フィールドワーク「渋染一揆」の下見を行った。当日の出席者は岩間一雄さん、小出隆司さん、菅野智子さん(以上、NPOおかやま人権研究センター)、鈴木實さん(岡山教会)、野中泉師、小野島照子修道女、本柳孝司師、根津正幸(以上部落差別人権委員会)。岡山での打ち合わせに基づいてスケジュールなどを審議。
2. シンポジウム「福音と差別」について  
「いのち・原発・差別」をテーマにシンポジウムを2012年9月8日(土)、サクラファミリア(大阪市)で開催する。シンポジストの橋本雅子さんが都合により辞退したため、代わりに西山祐子さん(避難者と支援者を結ぶ京都ネットワークみんなの手)に依頼。
3. 全国会議について  
2012年11月4日(日) - 5日(月)にザ・パレスサイドホテル(京都市)で開催する全国会議について

て

#### 4. 2013年春季合宿について

本柳孝司師より、赤坂憲雄さん（福島県立博物館館長）に講師依頼をしたが返事がないとの報告があり、今後の対応を審議。合宿場所は福島県いわき市を候補地とする。本柳師に再度赤坂さんに連絡をしてもらい、次回の定例委員会で具体化する。

### ■定例委員会

日 時 2012年5月11日（金）11：00－16：00  
場 所 日本カトリック会館 会議室2  
出席者 13人  
欠席者 3人

### 報 告

#### 1. 「狭山事件の再審を求める集い」

「狭山事件の再審を求める市民の会（庭山英雄代表）」主催の第三次再審請求を求める市民の集いが2012年3月22日（木）夜、日本教育会館（東京・千代田区）で支援者ら約200人が参加して開かれた。

#### 2. 「取り調べ可視化と公正な証拠開示の法制化を求める院内集会」

「狭山事件の再審を求める市民集会実行委員会（代表 庭山英雄弁護士）」が2012年4月20日（金）午後、参議院会館（東京・千代田区）で院内集会を開催した。参加者は約300人。首相や衆参両院議長あてに741,142人の請願署名を添えて、取り調べの全面可視化と証拠開示の法制化を求める請願書を提出した。

#### 3. 狭山事件「第10回三者協議」

2012年4月23日（月）15時から東京高等裁判所で三者協議（東京高裁・東京高検・狭山弁護団）が開催され、検察からスコープの捜査に関する書類や筆跡資料など19点の証拠開示があった。

#### 4. ハンセン病市民学会について

「ハンセン病問題から“いのち”の意味を考える」をテーマに2012年5月12日（土）-13日（日）、国立療養所松丘保養園（青森・青森市）、国立療養所東北新生園（宮城・登米市）などで「ハンセン病市民学会」が開催される。初日は青森市民ホール（青森市）、2日目は松丘保養園で青森集会、登米市迫公民館で宮城集会が行われる。

#### 5. 大阪教会管区部落差別人権活動センターより

##### (1) 学習会について

「田中部落における夜間学校と上田静一について」をテーマに2012年2月25日（土）、カトリック会館（京都市）で大藪岳史さんを講師に学習会を開催した。

##### (2) 現地学習会について

「京都の街を歩く～東三条・天部の歴史」をテーマに2012年7月21日（土）、安田茂樹さん（部落解放同盟京都府連合会東三条支部支部長）を講師に現地学習会を開催する。

#### 6. その他

##### (1) 大阪教区が「子どもの家事業」廃止案に対する再検討を要望

「大阪市改革プロジェクトチーム」が「子どもの家事業」を2013年度末で廃止する案を発表した。「子どもの家事業」は、「子どもの里・子どもの家」（大阪教区運営）の活動基盤になっている。

##### (2) 大阪人権博物館（リバティおおさか）（大阪市）の補助金廃止について

朝日新聞（5月11日）によると、橋下 徹大阪市長は7日、大阪人権博物館について、市の運営補助金を原則廃止する方針を指示した。大阪府の松井一郎知事も同日、今年度予算に計上した補助金を執行しない方針を示した。

##### (3) 「大阪大司教区・部落差別と人権を考える信徒の会」より

(4) 出版記念シンポジウム「司教が語る！！『なぜ教会は社会問題にかかわるのか』」について

## 審 議

### 1. 夏季合宿について

「信仰からの奉仕 信仰への奉仕～渋染一揆に学ぶ～」をテーマに2012年7月7日（土）13：00-8日（日）12：00、カトリック岡山教会（広島教区）を会場に夏季合宿を開催する。宿舎はコンフォートホテル岡山（岡山市北区丸の内）。ニューズレター（2012年5月号）に案内を掲載する。

### 2. シンポジウム「福音と差別」について

「いのち・原発・差別」をテーマに2012年9月8日（土）14：00-17：00、サクラファミリア（大阪市）でシンポジウムを開催する。シンポジストは西山祐子さん（避難者と支援者を結ぶ京都ネットワークみんなの手）、守田敏也さん（フリーライター）、幸田和生補佐司教（東京教区）の3人。西山さんは「いのちを守るために～福島から京都に自主避難して～」、守田さんは「内部被曝と被爆者差別」、幸田司教は「福島の思いに寄り添う」について話す。司会は大塚喜直司教（京都教区）。大阪教会管区部落差別人権活動センターが共催。

### 3. 全国会議について

今年度の全国会議は、2012年11月4日（日）-5日（月）にザ・パレスサイドホテル（京都市）で開催する。初日の講演は吉田栄治郎さん（天理大学講師）に依頼、2日目はカトリック会館（京都市）で各地の活動報告を行い、今後の課題について審議する。

### 4. 2013年春季合宿について

春季合宿は2013年2月23日（土）-24日（日）に、福島県いわき市で開催する。講師は赤坂憲雄さん（福島県立博物館館長）。

### 5. 2011年度決算について

事務局より2011年度決算報告が行われ、承認された。

### 6. 狭山現地学習会について

次回定例委員会の翌日、2012年9月18日（火）に「狭山現地学習会」を行う。現地学習会の案内は安田 聡さん（部落解放同盟中央本部）に依頼する。石川一雄さんの話も聞く。

## 日本キリスト教連合会

### ■2011年度第6回常任委員会

日 時 2012年4月26日（木）10：30-12：00

場 所 ルーテル市ヶ谷センター 議長室・会議室（東京・新宿区）

出席者 9人

事務局 1人

## 報 告

### 1. 日本宗教連盟（日宗連）

佐藤委員より

### 2. 東京都宗教連盟（都宗連）

藤盛委員より

### 3. 事務局より

## 審 議

### 1. 2011年度決算承認

- ・2011年度決算について、会計の久保委員より、研修会補助費に20万円としているが、残金が約20万円となっていることから、今後は研修会の運営について検討したほうがよいのではないかとの意見が挙げられた。
  - ・研修会担当の相澤委員より、今回は施設との関係で費用がかからずに済んだこと、スタッフの費用は研修会費用から拠出されていないことを説明した。
  - ・2011年度決算を確認し、審議事項として総会に提出する。
2. 2012年度予算案承認
- ・2012年度予算案について、総会資料に印刷したものに誤りがあり、一部修正を行った。
  - ・修正した2012年度予算案を確認し、審議事項として総会に提出する。
3. 総会議案最終確認
- 総会資料に基づいて議案を確認し、総会審議事項となっている「会計基準」作成のための研究委員会設置について、以下の通り委員候補を挙げた。
- 総会にて委員設置が承認された場合、常任委員会において再度委員を検討し依頼する。
- 「会計基準」作成研究委員候補
- ・専門家2名
  - ・教職者1名 常任委員1名
  - ・信徒1名

#### 次回日程

##### 2012年度第1回常任委員会

日時 2012年5月11日(金) 17:00

場所 ルーテル市ヶ谷センター 議長室・会議室(東京・新宿区)

協議 ①2012年度第1回定例会 日程等の確認

②2012年度法人事務・会計実務研修会 日程等の確認

③その他

## 外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ協)

### ■事務局会議

日時 2012年5月17日(木) 18:00-20:00

場所 日本キリスト教会館(東京・新宿区)

出席者 カトリックから1人

#### 議 題

1. 共同代表者会議について  
全国協議会の日程が2013年1月24日(木)-26日(土)、場所は在日韓国基督教会館(大阪KCC)(大阪市)に決まった。
2. 「外国人被災者支援プロジェクト」について
3. 7月9日実施の「外登法廃止・改定入管法」への対応について
  - (1) 非正規滞在者の合法化を求める署名
  - (2) 「ともに生きる」1万人宣言運動を展開し、賛同者を集める。
  - (3) 改定入管法の施行が7月9日に迫っているため、情報周知のため各教団が各地で行う「出前学習会」の日程を確認。
4. 第4回「青年の旅」について

日程が変更になり、2012年7月29日（日）より8月3日（金）に実施することになった。この変更に伴う各教派団体への対応を協議。

5. 全国キャンペーンについて  
各教団の今年度の活動予定をホームページに掲載する。

## 部落問題に取り組むキリスト教連帯会議（部キ連）

### ■第29回部キ連総会

日 時 2012年5月21日（月）10：00－16：00  
場 所 日本キリスト教会 大阪北教会（大阪市）  
参加者 カトリックから2人  
開会礼拝説教 趙 永哲牧師（在日大韓基督教会）

#### 総 会

1. 2011年度活動報告と決算の承認
2. 2012年度活動方針と予算の承認
3. 各委員会の活動報告と今年度の企画の承認
4. 加盟教団の活動報告
5. 役員人事の承認

記念講演 「部落の歴史と今日の課題」

講師 吉田栄治郎さん（奈良県立同和問題関係資料センター前所長）

部落差別は歴史的に作られてきた社会的関係にすぎない。「何トナク異ナル」意識の問題である。これを取り除くためには、「差別をなくしましょう」と言うだけでは無理である。これからは部落内外の新しい協業を作り出すこと、開かれた地域社会を構築すること、部落を特別な取り扱いから解放すること、部落問題をタブーとしないこと、が差別をなくす鍵になる。今日も脈々と続く部落差別に対して、新しい視点で取り組むことの必要性を訴える講演であった。

## 子どもと女性の権利擁護のためのデスク

### ■定例会議

日 時 2012年5月9日（水）15：00－18：00  
場 所 日本カトリック会館 会議室4  
参加者 6人

#### 審 議

今後のカトリック教会としての取り組み

山田不二子さんより、日本における子どもへの性虐待の実態と課題について

山田さん（NPO 法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク理事長／医師）は、子どもの性虐待に関する研修会を全国で展開し、国内において性虐待に対応するシステムをつくるために精力的に活動している。その豊富な活動経験を聞いた。

## 〈 要約 〉

- ・まず子どもへの性虐待は、手なずける行動をとりながら子どもを徐々に征服するのが特徴。身体的な外傷も少ないため、性虐待は発見されにくい。表面化されない性虐待の実態を知り、子どもが性虐待に遭うということがどれほど残酷なことなのかを理解することが重要である。米国の子どもの性虐待防止協会が製作した DVD「子どもをまもれ：性虐待の実態」の中で、子どもの頃に性虐待を受けた女性とカトリック教会の聖職者から性虐待を受けた男性が、当時の辛い体験を証言している。
- ・司法面接とは、虐待、とくに性虐待を受けたことが疑われる子ども本人から事実確認を行う手法で、欧米で 1980 年頃から開発が進んできた。コーナーハウス司法面接プロトコル RATAC は、米国児童保護研修センターが全米地方検事協会およびコーナーハウスと協働のもとに実施している、子どもの司法面接研修プログラムである。これまで渡米しなければ受講できなかった研修内容をそのまま、日本の現状に沿ったプログラム内容で行っている。また、司法面接研修のみではなく、地域に子どもの安全と福祉に関わる多種専門家からなる多機関連携チームを結成し、その育成と定着を目指している。最近、長崎県の依頼を受けて警察官や児童相談所職員を対象に 5 日間の司法面接研修を行った。どこかにモデルケースが出来れば、後は他の自治体でも取り組んで行く可能性がある。その点、長崎はカトリック教会が多いので期待している。
- ・日本は国連・子ども人権委員会、および人権委員会理事会からすでに勧告を受けているが、なかなか法改正が進まない。日本で多くの子どもたちが傷ついている現状を何とかしなければならぬ。そのために多機関が連携しあうべきだ。

## HIV/AIDS デスク

### ■第 1 回 HIV/AIDS デスク

日 時 2012 年 5 月 9 日 (水) 13:00-15:00

場 所 日本カトリック会館 会議室 2

出席者 8 人

欠席者 2 人

### 報 告

1. 小教区からのアンケート返送状況について  
83 の小教区にアンケートを依頼し、42 の教会から 1,200 通以上の回答が返送されてきた。送った枚数より倍近い数のアンケートを実施してくれた教会もあった。未回収の教会に対して締め切り延長の通知を行い、アンケート実施を再度依頼する。
2. 「祈祷の使徒」12 月の意向について

### 審 議

1. 小教区のアンケート調査の集計について  
到着順に集計を進めている。学生の回答は、学校の集計に加える。
2. 小冊子の内容検討  
B6 判カラー、横書き、左綴じで、各セクションに聖句とカットを入れる。表紙は今年の AIDS デーのポスターと同じものにして関連性をもたせる。原画は 8 月末を締め切りに公募する。各委員からの原稿締め切りは第 2 回デスク会議(7 月 18 日)とする。
3. AIDS 文化フォーラム in 横浜と京都について  
横浜(8 月 3 日-5 日)の展示会場は例年通り申込み完了。「宗教と AIDS」にデスク委員が登壇できるよう日程等の調整をしてもらおう。京都(10 月 6 日-7 日)は詳細が決まってから対応を考える。



#### 4. AIDS デーのミニカードとポスターについて

ポスターは小冊子の表紙と統一感をもたせるために、同一にして公募する。9月5日の第3回デスク会議で審査を行う。ミニカードは昨年の残部を考慮、今年は小冊子を作成することもあり、カードは作らない。

#### 5. アジア・太平洋カトリック合同 HIV/AIDS 会議

9月10日-14日にバンコクで開催される会議に、宮本秘書と事務局の伊東が全日程参加する。菊地担当司教は後半に参加する。

#### 次回日程

2012年度第2回デスク会議 2012年7月18日(水) 13:00 - 15:00

2012年度第3回デスク会議 2012年9月5日(水) 13:00 - 15:00

## 中央協議会事務局

### ■総務

#### 7月会議予定

3日(火)	正義と平和協議会定例会議	日本カトリック会館
4日(水)	諸宗教部門会議	〃
5日(木)	常任司教委員会	〃
5日(木)	社会司教委員会司教秘書合同会議	〃
6日(金)	子どもと女性の権利擁護のためのデスク	〃
9日(月)	典礼委員会定例会議	〃
12日(木)	日本キリスト教連合会常任委員会・定例委員会	ルーテル市ヶ谷センター
17日(火)	カリタスジャパン啓発部会	日本カトリック会館
18日(水)	HIV/AIDS デスク会議	〃
25日(水)	カリタスジャパン委員会	〃

カトリック中央協議会 「会報」 2012年7月号 (通巻493号)

発行日 2012年6月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457